



月2回刊=1457号
2016年3月30日 発行
発行日 毎月15日30日
発行所
盛岡市内丸10番1号
岩手県庁内
岩手県職員労働組合
印刷所
盛岡市上田二丁目17-4
有限会社 ジョー印刷企画
一部 40円
組合員購読料は組合費に含む

公務員連絡会 春闘要求書で人事院と交渉 総裁交渉に向け、前向き検討を求め

公務員連絡会は2月19日、賃金改定をはじめとした労働条件改善に係る2016春闘要求書を政府及び人事院に提出し、段階的に交渉を重ねてきた。3月16日が民間大手の春闘要求に係る一斉回答日となることに併せ、3月17日を交渉ヤマ場とし、春闘中央行動・人事院局長交渉を実施し、前進回答を求めた。

民間組合が3年連続のベースアップを確保できる見込みという点では良い材料」としながら、「全国ベースの春闘回答はこれからであり、今後の民間給与実態調査を踏まえ検討する」とし、今後の民間春闘でのベースアップ確保が賃金改定を左右するとの見解を示した。



公務員連絡会・3.17 人事院交渉



一関総務センター所長と交渉する一関支部執行部 (写真左)



胆江支部長(右)に部長回答が手渡される

「支部独自要求」で交渉へ 職場から運動の構築を

2015年度も支部独自要求の改善に向けた支部独自要求・交渉が果敢に行われた。今年度の支部独自要求の結果をふり返る。

2015年度も支部独自要求の改善に向けた支部独自要求・交渉が果敢に行われた。今年度の支部独自要求の結果をふり返る。欠員解消、超過勤務手当の適正支給、諸手当改善をはじめ、組合員を対象としたアンケートで得られた切実な要望をもとに独自要求書に取りまとめ提出し、久慈支部(1月13日)、釜石支部(1月21日)、奥南四支部(2月17日)で局長交渉が行われた。3月10日には先に交渉した奥南四支部への回答書が佐藤胆江支部長に手交され、回答では人事当局の見解を踏まえ、超過勤務の適正支給に關し「超過勤務手当が適正に支給されていないことは問題であり、職員が委縮してしまうことも懸念されることから必要予算の確保に向け要求していく」との見解が示された。また、厳しい実態を認識させ、改善を促す回答を得ることができた。

また、庁舎・公舎等の修繕や勤務環境の改善に係る庁舎管理者への独自要求・交渉も、久慈支部(1月8日)、花巻支部(2月22日)、花巻合庁(2月23日)、遠野合庁(胆江支部(2月25日)、一関支部(3月9日)で実施され、老朽化した庁舎・公舎の修繕などを訴えた。一関支部では合庁内の空調、ト

イレ、駐車場改修など10項目にわたる課題を波及し、修繕を訴えた。これに対し一関総務センター所長から「不具合は意見を聞きながら対応する」とし、可能なものから順次修繕に取り組みとの回答を引き出した。また、胆江支部では3月18日に要求事項に対する回答書が示され、修繕箇所へは速やかに対応するほか、必要な予算確保に努めるとの回答を引き出した。これまでも、現場の組合員の切実な実態をもとに、身近な職場環境の改善を訴え、実現させるなどの成果を上げてきている。2016年度も支部独自要求を追求し、職場から運動を構築していく。



一関支部青婦部の(写真左)の庁舎管理者との交渉

始業前の除雪作業を 超勤対象に

一関支部青婦部が独自交渉

一関支部青年婦人部では始業前の合庁駐車場の除雪作業が重荷になっているにもかかわらず、業務外となっていることから、超過勤務手当の対象とするよう、2月16日に独自要求書を提出、交渉により改善を求めた。人事課への確認を踏まえ、超過勤務支給の対象と

することを確認した。青年層が主体となって課題解決のため声を上げ、行動した成果と言える。職場の視点で独自要求を追求していく。

3月24日県議会は給与条例を可決し、超過勤務手当等の実績給の一部を除き、3月31日に月例給・一時金等の差額支給が行われる。年度内の支給実現は、組合員一人ひとりが県職労運動に結集した成果である。一方、4月から給与制度の総合的見直し導入され、組合員の多くが現給保障の対象となる。今年度は勤務意欲が確保できる賃金改善が課題となる。引き続き闘争への結果をお願いする。

3年連続「ベースアップも賃上げ減速か？」
連合は3月18日時点における民間大手の回答状況を

公表した。月例賃金は定期昇給を含め6,341円の引上げと昨年比▲1,156円にとどまり、3年連続のベースアップを勝ち取ったが、要求とはほど遠く依然厳しい状況となっている。連合は、今後職場中小企業における春闘交渉が佳境を迎えることから、春闘勝利に向けて闘争を強化していくとの声明を発表した。

大船渡市議会議員選挙 4月17日告示・24日投票 「平田」勝利へ支持者の拡大を!!

県職労は、2月27日に開催された県職労第114回臨時大会において、4月17日告示・24日投開票の大船渡市議会議員選挙で、引き続き組織内候補として推薦・擁立することを決めた。選挙戦勝利に向け、組合員の皆様の、「知人・友人」への支持拡大をよろしく願います。

◆生年月日 1954年11月13日
◆経歴 1973年 岩手県立大船渡高校卒業
1975年 岩手県職労勤務(気仙支部書記)
1990年 大船渡市議会議員(～2004年、2008年～2012年)
2014年 大船渡市議選補欠選挙で当選。現在に至る。(通算6期・19年)
◆特技 弓道(錬士五段)

第五世代

春の別れの季節を迎えた。今年度をもって退職される組合員・準組合員は108人となり、昨年度と同様に大規模となった。県政はもとより県職労運動を牽引してきた先輩の皆様に深く感謝を申し上げたい。先輩方の採用された70～80年代は県職労運動の最盛期であった。国による人動凍結の波に抗し、ストライキ戦術を繰り出して果敢に闘い抜いた。先輩方の退職に寂しさを覚えずにはいられない。春はスタートの季節でもある。新年度が目前だ。各職場では事務引き継ぎや新職場への着任に向け慌ただしい日々を迎えている。また新採用者約220人が各所属に配属され、新採用職員の加入対策が本格化する。3月31日には15賃金改定に係る差額支給が行われるなど目に見える成果も表れている。運動の成果を新採用職員にも広め、組合員一人ひとりが自信をもって新採用を進めていくことが大事だ。2016年度も賃金・職場環境改善、政治闘争の推進など課題は山積している。これまで果敢に闘い抜いた諸先輩の意思を引き継ぎ、強靱な組織を作るためにも、新採用職員の日も早い県職労の仲間入りを実現させよう。

退職者の皆さんありがとうございました

この3月、今年も多くの先輩、仲間の皆さんが職場を去られます。

長い年月、県政発展のため第一線で働いてこられた先輩の皆さん。県職労の権利拡大や組織強化のため支部や分会、いろいろな場面で運動を支えていただきました。

心から感謝を申し上げます。
謹んで組合員、準組合員の皆さんのお名前を掲載させていただきます。(順不同・敬称略)

▼県庁支部

- 工藤昌男(農林水産部)
- 白岩利恵子(県民くらしの安全課)
- 大泉善資(廃棄物特別対策室)
- 佐藤順一(農林水産部)
- 五日市治(健康国保課)
- 中道明(下水環境課)
- 長谷川俊夫(調査統計課)
- 武智文子(若者女性協働推進室)
- 中村政則(総務部管財課)
- 松尾京子(農産園芸課)
- 平野ルミ子(広聴広報課)

▼盛岡支部

- 宇部眞一(岩手県環境保健研究センター)
- 岡村鋭次(盛岡広域振興局保健福祉環境部)
- 八重樫典彦(県立産業技術短期大学校)
- 伊藤琢也(岩手県林業技術センター)
- 川村俊通(盛岡広域振興局土木部)
- 及川朗(岩手県環境保健研究センター)
- 菅野啄也(岩手県立杜陵学園)
- 白鳥敦子(盛岡広域振興局保健福祉環境部)
- 関勇一(盛岡広域振興局保健福祉環境部)
- 永井昌(岩手県立産業技術短期大学校)
- 菊池雄(岩手県中央畜産保健衛生所)
- 菊池経章(岩手県内水面水産技術センター)
- 古川勉(盛岡農業改良普及センター)
- 伊藤茂樹(公益財団法人岩手県下水道公社事務局)
- 吉田壽仁(盛岡広域振興局土木部)
- 高屋英洋(盛岡広域振興局土木建設事務所)
- 菅原隆志(岩手県環境保健研究センター)
- 嶋弘一(岩手県環境保健研究センター)
- 伊藤福司(盛岡広域振興局農政部農村整備室)

▼花巻支部

- 菊池健一(花巻土木センター)
- 菅原孝彦(遠野土木センター)
- 児玉浩(花巻保健福祉環境センター)
- 佐々木秀治(花巻農林振興センター)
- 長洞幸平(遠野土木センター)
- 八重樫明夫(花巻土木センター)

▼北上支部

- 木内豊(岩手県農業研究センター)
- 佐々木仁(中央農業改良普及センター)
- 多田勝郎(岩手県農業研究センター)
- 泉川澄男(岩手県立農業大学校)
- 梶田敏彦(岩手県立農業大学校)
- 工藤英夫(中央農業改良普及センター)
- 瀬川孝司(北上農村整備センター)
- 渡邊義昭(公益財団法人岩手県下水道公社県南支社)
- 及川義則(北上土木センター)
- 長森克之(岩手県立農業大学校)
- 鈴木清紀(花巻保健福祉環境センター・北上市駐在)
- 小沢丈則(岩手県立農業大学校)
- 阿部陽(公益財団法人岩手県生物工学研究センター)

▼胆江支部

- 川向吉彦(県南広域振興局県税課)
- 菅原実(県南広域振興局保健福祉環境部)
- 菅原淳(県南広域振興局保健福祉環境部)
- 千田健一(岩手県立産業技術短期大学校水沢校)
- 中村武(岩手県立産業技術短期大学校水沢校)
- 高橋学(岩手県農業研究センター種山畜産研究室)
- 南野久晃(岩手県南家畜保健衛生所)
- 三浦正弘(奥州農業改良普及センター)
- 菊池誠(県南広域振興局林務課)

- 高橋公男(県南広域振興局土木部)
- 斎藤和一(岩手県農業研究センター種山畜産研究室)

▼一関支部

- 三上徹(一関県税センター)
- 岩崎隆(一関保健福祉環境センター)
- 佐藤信一(岩手県一関児童相談所)
- 菊池正悦(一関農村整備センター)
- 佐藤光吾(一関土木センター)
- 浦中慶大(一関農業改良普及センター)

▼気仙支部

- 佐藤信昭(大船渡土木センター)
- 鈴木克知(大船渡水産振興センター)

▼釜石支部

- 佐久間修(岩手県水産技術センター)
- 中村隆(沿岸広域振興局保健福祉環境部)
- 石川豊(岩手県水産技術センター)
- 落合猛(沿岸広域振興局土木部)
- 松田文昭(沿岸広域振興局水産部)
- 徳田俊美(沿岸広域振興局保健福祉環境部)
- 山崎正人(岩手県漁業取締事務所)
- 山口仁(岩手県水産技術センター)
- 後藤友明(岩手県水産技術センター)
- 黒澤直人(人事課・釜石市)

▼宮古支部

- 海老子川悟(宮古農林振興センター林務室岩泉林務出張所)
- 菅原弘行(宮古土木センター)
- 長藤佳代子(人事課・宮古市)

▼久慈支部

- 高橋政夫(県北広域振興局農政部)
- 野場英義(県北広域振興局林務課)
- 林一郎(人事課・野田村)

▼二戸支部

- 鈴木豊(保健福祉部 岩手県社会福祉事業団・中山の園)
- 小田島新(岩手県立二戸高等技術専門校)
- 及川一也(岩手県農業研究センター県北農業研究所)
- 高橋修(中央農業改良普及センター軽米普及サブセンター)

民意に寄り添う私たちの代弁者

吉田 ただとも 忠智

第24回参議院議員選挙・比例代表予定候補者

《プロフィール》

1956年大分県臼杵市生まれ。九大農学部卒業後大分県庁に就職。農業土木技術者として仕事に携わりながら組合活動に取り組み、書記長・委員長を歴任。2000年、県議会議員に初当選(3期)。2010年、参議院議員初当選(社民党比例代表)。党政策審議会長・党副幹事長などを歴任。現在、第4代党首。



県職労は、第114回臨時大会で「吉田ただとも」を第24回参議院議員選挙で推薦することを決定しています。

▼本部

- 田中英樹(二戸農業改良普及センター)
- 新道敬(二戸農林振興センター農村整備室)
- 大久保博(二戸農林振興センター農村整備室)
- 伊藤正美(二戸土木センター)
- 岩井大(二戸土木センター)
- 田中芳樹(生涯学習文化課・県立博物館)
- 佐藤公司(県立平館高校)
- 岡崎幸治(総合教育センター)
- 菊池芳孝(県立釜石祥雲支援学校)
- 菊池好行(県立福岡工業高等学校)
- 野崎明裕(企業局経営総合管理所)
- 戸来博(企業局経営総合管理所)

目時書記(北上)が定年退職へ

県職労北上支部勤務の目時昌子書記が3月末をもって定年退職する。1978年1月1日付で花巻支部に配属されて以来38年間、県職労運動の発展に寄与してきた。その功績に感謝し、今後一層の活躍を期待する。

